

## 子宮頸部円錐切除術後妊娠における早産予測因子の解明

### 1. 研究の対象

2013年1月1日～2019年12月31日までの間に、当院産婦人科にて妊娠分娩のため通院し、診察を受けた子宮頸部円錐切除術後妊娠の患者さん

### 2. 研究目的・方法

子宮頸部円錐切除術後妊娠の中で、どのような方が早産になりやすいかを明らかにして、具体的な早産予防策を検討することを目的とします。

研究期間：承認日～2024年3月31日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、体重、子宮頸部円錐切除術に関する情報（診断名、円錐切除術の方法など）、妊娠分娩に関連する情報（分娩種数、出生体重、など）、分娩後の診療録の情報 など

### 4. 外部への試料・情報の提供

代表機関へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

### 5. 研究組織

研究代表者：

春日 義史

慶應義塾大学医学部 産婦人科学教室 一般・消化器外科

住所：東京都新宿区信濃町 35

電話：03-5363-3890

共同研究機関：

済生会中央病院産婦人科

国立病院機構東京医療センター

川崎市立川崎病院

など慶應義塾大学産婦人科関連病院 24 施設

### 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、

## 資料 4

研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者：

川崎市立川崎病院 産婦人科 部長

中田 さくら

住所：川崎市川崎区新川通 12-1

TEL:044-233-5521 (代)

-----以上